



# 三光幼稚園だより 5月号

<http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp>

ブログ: <http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp/blog>

Twitter: [https://mobile.twitter.com/sanko\\_kg](https://mobile.twitter.com/sanko_kg)



令和7年4月30日  
港区立三光幼稚園  
園長 藤井 未知江



## こどもの日に思う

園長 藤井 未知江

新緑が美しい頃となりました。木々の葉が青々と生い茂り、梅の実が今年もでき始めています。令和7年度が始まって間もなく一月が経ちます。今年も入園したばかりの年少児の学級に、地域学校協働本部からボランティアの方を毎日派遣していただき、そのおかげで年少組のこどもたちは、すんなりと落ち着いて園生活に入ることができました。

最近、園庭では、空高く泳ぐ大きな鯉のぼりと、年長組のこどもたちが考えを出し合い相談を重ねながらつくり上げたグループごとの鯉のぼりが、仲良く揃って泳いでいます。年少・年中組のこどもたちは、それぞれ自分の鯉のぼりをつくり上げ、早速園庭で、「泳いでるね!」と言いながら鯉のぼりを持って走ることを楽しむ姿が見られました。一人ひとり、体の色、目の色、うろこの色など、考えながら、試しながら楽しんでつくったものです。御家庭に持ち帰りましたら、またはこどもの日などに、是非、鯉のぼりをどのようにしてつくったか、話題にして聞いてみてください。

さて、こども家庭庁では、こどもの日からその後の1週間を「こどもまんなか 児童福祉週間」として定めています。今年は「いつだって まんまる まんなか こどもたち」が標語に選ばれました。我々大人には、全てのこどもが家庭や地域において豊かな愛情に包まれながら、夢と希望をもち未来の担い手として、個性豊かにたくましく育っていけるような環境、社会をつくることが求められています。

日本では古来からこどもの健やかな成長を願い、鯉のぼりや五月人形を飾ってきました。こどもたちが健やかにたくましく育つことを願う大人たちの願いは、今も昔も変わらず、今後も永く受け継がれていくことでしょう。

4月24日(木)は本園の開園記念日でした。子どもたちは、三光幼稚園の子どもたちが遊ぶ昔の写真や10回目、20回目、30回目などこれまでの周年行事や昔のお祝いの様子の写真を見てその違いに驚き、50周年の時にできた本園のマスコットキャラクター「きらりちゃん」の「きらりちゃん体操」を皆で踊るなどしてお祝いをしました。

今年の11月8日(土)には、いよいよ60周年開園記念式典と祝う会が挙行されます。実行委員の皆様がアイデアを出していただき、準備を進めてくださっているところです。地域の教育機関として根付き、これからも長く保護者・地域の皆様が必要とされ、愛される幼稚園であり続けることを願ってやみません。今後とも御支援・御協力の程よろしく御願い申し上げます。



開園記念日に、昔の園の子どもたちの様子の写真を見たり、クイズ形式で様子を知ったりしました。



10周年ごとのお祝いの様子を、皆で観て子どもたちはとても驚いていました。